

第 30 期定期総会

日時：2026 年 6 月 13 日(土)

場所：早稲田大学大隈タワー地下ホール

会次第

1. 第 30 期定期総会 1430-1515 開会 挨拶 幹事長小川英郎

① 会長挨拶 会長根本宏児

② 議事

第一号議案 2025 年度活動報告 幹事長小川英郎

第二号議案 2025 年度決算報告 会計 川村淳一

2025 年度監査報告 監査役小椋和平

第三号議案 2026 年度活動計画 幹事長小川英郎

第四号議案 2026 年度予算案 会計 川村淳一

(報告事項) 2026 年度役員紹介 幹事長小川英郎 (閉会の辞)

2. 記念講演会 (1530 入場開始) 司会幹事長小川英郎

ご挨拶 会長根本宏児 (聞き手)

講師紹介 監査役小椋和平 (同上)

講師 隅修三氏 (日本台湾交流協会会長)

演題 『隅修三会長が語る、早稲田そして台湾 (日台関係のこれから)』

講演 1600-1700

質疑応答 1700-1730

3. 懇親会 1800-2000 司会 黄一桂幹事

場所 大隈タワー15階『森の風』

【第 30 期定期総会会長挨拶】

2026 年 6 月 13 日  
日台稲門会 会長 根本宏児

第 30 期日台稲門会総会ご挨拶

日頃より当会の活動に対して、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、世界情勢が目まぐるしく変化する中で、台湾との関係も様々な機会で議論される状況となっております。トランプ政権に振り回される状況ではありますが、当会としては引き続き台湾との友好に努めていきたいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

さて、昨年の日台稲門会としては、総会講演会では垂大使にご講演を頂き、日中関係の様々なお話をうかがうことができました。また、秋期講演会では近藤先生に、春期講演会では石川先生に講演をお願いし、多数の方々にご参加いただきました。

一方、昨年も台湾では9月に台風 18 号が花蓮地区に洪水災害を発生させる事態となり、甚大な被害に見舞われることとなりました。日台稲門会としては、稲門祭講演会の際に募金を募り、また幹事会を中心に義援金を募った結果、約 25 万円を日本財団窓口に送金、台北駐日経済文化代表処にご報告させて頂きました。

10 月には台北駐日経済文化代表処主催の国慶節パーティに参加しましたが、年々盛大な会となり、日本と台湾との関係が更に強くなっているのを感じております。

今年度も日台稲門会として 10 月の稲門祭参加をはじめとして、有意義な活動の拡充に努め、また早稲田大学台湾留学生団体 WTSA との交流・支援も強化していきたいと考えております。

今年度も会員・会友の皆様にとっても意義ある稲門会になるよう、皆さまと一緒に努力して参りますので、皆様のご指導・ご支援を引き続きよろしくお願ひいたします。

## 【第一号議案 2025 年度活動報告】

### 1. 主要イベント

- ① 第 29 期総会記念講演会懇親会（6/14 大隈タワー地下ホール）  
総会 22 名参加 議案全件承認 反省として幹事以外の会員会友の参加が少ない  
講演会 講師 垂秀夫氏（前駐中国大使）  
演題『もう一度台湾の問題を考える』  
同時期に同氏著書「日中外交秘録」が刊行されたこともあり充実した講演  
当会もマスコミ対応に、より留意することを改めて認識（55 名参加）  
懇親会 43 名参加（森の風）
  
- ② 台湾校友会総会出席（11/15 台北喜來登大飯店）  
当会からは岩永名誉会長・小川・相京・跡部・川村・荒木・三村前会長 7 名  
全体的には 146 名が参加 台湾校友会会長が呉昕陽氏から鄭世維氏に。（日台稲門  
会会員）岩永氏より昕陽氏には（お父様の）東興様の時代からお世話になった旨  
労いと感謝を表明（今回田中総長は所用につき欠席）
  
- ③ 講演会  
秋季（10/19 稲門祭 7 号館 307 教室）  
講師 近藤弥生子氏（台湾在住ライター『台湾はおばちゃんに回っている』を  
はじめオードリータンへの直接インタビューで話題）  
演題『台湾の“今”を知る』  
講演会 約 100 名参加とほぼ満席 懇親会（高田牧舎）42 名参加  
講演内容も「最新台湾おばちゃん事情」からオードリまでと盛り沢山であった  
  
春季（2026/1/31 大隈タワー地下ホール）  
講師 石川公弘氏（日台稲門会元会長 大和市議会元議長）  
演題『台湾少年工との交流 80 年』～生命の尊重と死者への弔い  
講演会 52 名 懇親会（金城庵）30 名参加  
講演内容は石川氏が軍歌を熱唱、質疑応答も活発であった  
  
ミニ講演会（12/13 1600-1700（幹事会終了後開催）  
講師 山田周平氏（桜美林大学教授・元日経・専門 半導体）  
演題 『相互補完が進む日台ビジネス』  
22 名参加 懇親会 16 名（於 そうせき）

2. 台北駐日経済文化代表処との交流  
9月下旬、台風18号の影響で台湾花蓮が洪水災害。10/19 稲門祭講演会にて募金をつのり3万円、に加えて総会時の寄付金5万、幹事から約12万、当会から5万合わせて249,269円が集まった。12/13 根本会長が代表処を訪問、目録手交。  
(事務的には日本財団窓口へ送金、その領収書を目録添付)
3. 早稲田大学台湾留学生会 (WTSA) との交流  
12/19 WTSA 忘年会に小川・相京・跡部で参加 2万円寄付 (新会長 林子安選出)  
2026/1/31 石川氏講演会に WTSA 約10名が出席 (石川氏の希望に沿い)  
2026/3/14 三台会交流行事早稲田キャンパスツアー案内を元 WTSA 侯宇任君が担当
4. 慶應義塾大学 (三台会) との交流  
2026/3/14 (幹事会終了後) 三台会と合流し早稲田キャンパスツアーを開催  
(ガイド役元 WTSA 侯君)  
2025/5/22 早慶定期ゴルフ (習志野 CC) 早13 慶13名参加  
2025/10/16 早慶定期ゴルフ (習志野 CC) 早12 慶11名参加
5. 他稲門会との交流会  
・行政書士稲門会～総会懇親会に相京・川村参加  
・新宿稲門会～12/14 30周年祝賀会に日台稲門会として参加 (北川原・小川・黄)  
於：大隈ガーデンハウス
6. 広報活動 (ニュースレター等配信)  
2025/6 会報発行  
2025/秋 ニュースレター配信
7. 会員会友状況 (会員会友数 2026/3/31 現在)  
102名 うち新入会員5名
8. 定例幹事会 (実績報告と主要テーマ)  
2025/4/19 春季講演会総括、総会段取打合、組織強化補助金-審議の上不使用決定  
2025/5/10 総会資料点検 (紙ベースで)・早川友久氏・亀ヶ谷政則氏、新幹事承認  
(2025/6/14 総会)  
2025/7/12 総会総括、秋季講演会@稲門祭打合  
2025/8 (夏休期間中につき休会)  
2025/9/13 秋季講演会最終打合 台湾校友会参加者確認、春季講演会講師選定

(2025/10/19 稲門祭講演会)

(2025/11/14-16 台湾校友会参加)

2025/12/13 秋季講演会@稲門祭総括、台湾校友会出席報告、荒木賢吉氏新幹事承認

(2026/1/31 新春講演会)

(2026/2 休会)

2025/3/14 新春講演会総括、総会講師選定、三台会交流会開催

(注) (カッコ) 内の6月・10月・1月は主要イベント開始前に30分程の幹事会を実施。(特記事項はなし)

### 【第二号議案 2025 年度決算報告】

資料「②第30期予算案(4号議案)」の『第29期実績欄』をご覧ください

### 【第二号議案 2025 年度監査報告】

### 【第三号議案 2026 年度活動計画】

#### 1. 主要イベント

6月13日 第30期定期総会（於大隈タワー地下ホール）  
記念講演会 講師 隅修三氏（日台交流協会会長）  
演題『隅修三会長と早稲田そして台湾（これからの日台関係）』  
懇親会 森の風

10月18日 秋季講演会 in 稲門祭（講師未定）

11月21日 台湾校友会出席予定

2027年3月 春季講演会（予定）

#### 2. 代表処との交流

代表処主催イベント（国慶節祝賀行事）には積極的に参加することとする

#### 3. W T S A との交流

就活支援会

忘年会等で引続き支援を推進することとする

#### 4. 慶應義塾大学（三台会）との交流

定期ゴルフ大会の継続

合同懇親会の実施 等で継続的友好を図る

#### 5. 他稲門会との交流

行政書士稲門会

新宿稲門会

中野稲門会

#### 6. 広報活動（ニューズレター配信）

年度内に会報含め2-3回発行予定

#### 7. 新入会員の獲得（前年度以上を目指す（例 月 1-2名の獲得）

#### 8. 若手役員（幹事）の登用

#### 9. 定例幹事会

月一回 第二土曜日 を基本に開催（基本 1530-1700）

（8月は休会とする）

イベント開催時は開始前に幹事会（30分程度）

### 【第四号議案 2026 年度予算案】

資料「②第30期予算案(4号議案)」ご参照

以上